立花生徒会新聞 Gerbera 通信

第13号　平成24年
1月13日
尼崎市立立花中学校
生徒会執行部　再発行

ガーベラの花言葉
常に前進・希望
立花中学校、全員で常に前進していきましょう

これからの決意

私たちは今回の生徒会選挙に当選し、新生徒会執行部としてこれから一年間活動することになりました。私たちは、今までの経験や前年度の生徒会執行部の方々から学んだことを生かして、良い生徒会執行部をつくっていこうと思います。私たちの考える良い生徒会執行部とは、「執行部のみんながおたがいを支え合い、みなさんの意見を広く取り入れていく」そんな生徒会執行部です。

私たちは良い生徒会執行部をつくっていくために、たくさんのことを自分たちで考え、前年度の生徒会執行部で失敗したことや成功したことなどを基に新しいことに挑戦していこうと思います。

今年も私たち生徒会執行部は、先生方の力を借りずに、自分たちで考え、文化発表会を成功させようという目標を持っています。そのためにもまずは執行部自体が団結して、同じ目標で頑張っていこうと思います。たとえば、朝のあいさつ運動や生徒朝礼などは「みんなで協力してやりとげる」という目標を持って活動していきます。私たちは多くの活動を生徒会執行部で進めていきたいと思っています。

ですが、私たちだけでは多くの活動を成功させていくことが大変です。私たちが多くの活動を成功させ、良い生徒会執行部をつくるためにはみなさんの協力が必要です。

私たち新生徒会執行部は、みなさんのために、そしてこの立花中学校のために一年間、一生懸命頑張っていきます。ときには、上手く事を進めていけない場合もあると思います。けれど、「失敗は成功のもと」というように、その失敗を次に生かして成功につなげていきます。

私たちは今まで以上に良い生徒会執行部を作り上げて、この立花中学校でたくさんの思い出を作れるようにしようと思います。そして、生徒会執行部で学んだたくさんのことを、次の生徒会執行部に受けついでいってもらいたいです。

新生徒会執行部のみんなで一年間一生懸命頑張りますので、みなさんの御協力をお願いします。

冬休みが終わりました

いよいよ冬休みが終わり、三学期が始まりました。皆さんはこの冬休みをどのように過ごしましたか？勉強は出来ていたか、宿題はできていたか、きちんとした生活をしていたか、危険なことに関わってはいないか、ここで少し振り返ってみてください。何か思い当たることがあるでしょうか？「きちんとやったよ。ばっちり！」と自信を持って言ってもらえれば最高です。しかし、そうではない人はしっかりと振り返ってみてはどうでしょうか？

というのも、三学期では三年生は受験があり、二年生は三年生に、一年生は二年生になるための準備期間でもあります。しかも、あっと言う間に新一年生が入ってきます。その直前にお正月のある冬休みは、どうしてもどこかたるんでしまいがちかと思います。

だから、振り返りは大切だと思います。自分の長所を伸ばし、短所を改善する。その両方を実行するのは難しいことですし、自分の長所を見つけられていない人もいるかもしれません。冬休みを振り返ることで短所の改善をしてもらえればと思います。

冬休みと学校との時間差にめげず、冬休みを休息だけでなく何かしらを得ることができる大切な時間にするために、この三学期を有意義に過ごすために自分にとって必要なことを考えてみてください。そして、三学期が始まると課題テストや学年末テストがあります。

冬休みの気分のままテストを迎えてしまうと良い結果を残すことができないので、早い段階からそなえておきましょう。こつこつ努力を積み重ねることで力がつき、成長することができるのではないでしょうか。良い結果を残し、そのまま維持できるような自分に合った勉強方法を見つけてみましょう。

最後に、一学期や二学期、長期休みなど、全てを通しての振り返りもしてみてだめだと思ったことは改め、良いと思ったことは続けていくようにしましょう。

また、今までしたことのないような新しいことにチャレンジしてみるのもいいと思います。

委員会活動について

私たち七人は、生徒会執行部の役員であると同時に、各委員会の委員長でもあります。私たちは、月に一度の専門委員会で、進行役を務めます。初めのうちは、前年度の先輩方に教わりながらも、慣れない様子で、聞き苦しいところも多多、あると思います。わたしたちの中には、人の前に立つのが得意ではない人もいます。上手くいかなかったときに、みなさんの温かい声があると、「よしっ！！頑張ろう！」と気持ちを立て直すことができると思います。

そして、わたしたちは、一月から、専門委員会を進行していきます。新生徒会執行部は、四月まで先輩方に指示を出さなければなりません。図書委員長と文化厚生委員長は、四月以降も上級生の前に立たなければなりません。多かれ少なかれ、誰しもが先輩方に、指示を出さなければなりません。目上の人の前に立って物事を進めていくのは、誰もが緊張し、不安やとまどいを感じることがあると思います。わたしたちもそうです。慣れないことも多く、上手く先輩方に指示が出せないかもしれません。それでも、わたしたちはみなさんのプラスになるよう、生徒会役員全員で力を合わせ、一生懸命頑張りますので、ご協力をよろしくお願いします。

ところで、みなさんは専門委員会をどのようなものだと考えていますか？今まで、様々な活動をやってきたとことだと思います。その、やってきた様々な活動は、どれも、わたしたちの学校生活、または私生活で何らかの形で役に立ってきたのではないでしょうか？わたしが思う、専門委員会とは、代表して物事を進める委員長、その委員長と共に、アイデアをだし、クラスの人々に伝えてくれる委員、そして、それを理解してくれる全校生徒のみなさん。このように、たくさんの方の協力があってこそ、成り立つものだと思います。これからも、専門委員会を行い、新しいことに挑戦していくことによって、この立花中学校が今までよりももっとよくなると思います。

一生懸命活動しますので、みなさんご協力をよろしくお願いします。

今年の通信のタイトル

今年の生徒会新聞のタイトルは「Gerbera」です。これは、ガーベラと読みます。

前回のタイトルは「Signal」で、これは「信号」という意味で3つの学年の色、黄色、赤色、緑色を表しています。このタイトルは、立花中学校の学年カラーをあらわしています。それに対し、今回のタイトルである「Gerbera」は、学年やクラスにとらわれず、この立花中学校の全校生徒が、一つになって、物事を進めていく…そういう思いがあります。

ところで、みなさんはガーベラを知っていますか？今年のタイトルを「Gerbera」にしたわけは今までなかったタイトルにしたかったのと、花言葉ならたくさんの種類があるので気になったものが見つかると思ったからです。最初はGerberaのほかにも十人十色や日進月歩などいろいろ候補もありましたが、石井先生や生徒会執行部のみなさんの意見を聞いてGerberaに決定しました。

ちなみに、ガーベラにもいろいろな種類がありこの「常に前進」の意味を持つガーベラは赤色のものだけだそうです。ガーベラは美しく、花言葉も意味が深く新聞のタイトルに由来するにはぴったりだと思いました。

ガーベラは咲いている様子も明るく、前向きな感じがします。そのガーベラを見ていて心が癒され私たちも頑張ろうと思うのではないのでしょうか。立花中学校や生徒会執行部、全校生徒が勉強、気持ちなどの全てのことに対して常に前進し、より良い中学校をつくっていきたいという願いも込めています。

全校生徒が常に前進するためには一人一人の意識が大切です。また、全校生徒が前進していくために私たち生徒会執行部も止まることなく前進していきたいと思います。私たちは前の生徒会を新聞や、行事などいろいろな面でこせるようになりたいです。そのためにはみなさんや先生方の信頼を得て、協力してもらえるようにがんばっていきたいです。なので、みなさんご協力お願いします。

編集後記

11日の新聞で記事が重なってしまい、すみませんでした。

これからのこういった事がもうないように気をつけます。今月2枚目の発行ですが皆さん読んでください。(池田・池本・梶本・岩崎・竹尾)